

アメリカ合衆国大統領
ドナルド・トランプ殿

「核態勢見直し」(NPR) に強く抗議します。

2018年2月8日
非核の政府を求める大阪の会

トランプ政権は2月2日、新たな「核態勢見直し」(Nuclear Posture Review) を公表しました。

核兵器のない平和な世界めざす私たちは、この「見直し」に満身の怒りを込めて強く抗議します。

今回の「見直し」では、小型核兵器の開発を行い、通常兵器への報復にも核兵器使用の検討を行うと明言し、また戦略核兵器の3本柱(潜水艦発射弾道ミサイル、陸上配備型大陸弾道弾ミサイル、戦略爆撃機)の維持・近代化を進めるとしています。また核実験について今後必要が生じた場合は再開もありえるとなりました。

どのような小型の核兵器であれ、これを使用するならば、広島・長崎に続く第三の戦争ヒバクシャを生み出します。その非人道性は今や私たち日本人のみならず、世界市民にも広く認識されています。反核兵器の国際世論の高まりから核兵器禁止条約が昨年国連で採決されました。米政府の今回の「見直し」はこのような国際世論に真っ向から対抗するものです。

また北朝鮮の核兵器開発に口実を与えかねないものであり、世界やアジアの安全を脅かすものであります。

核兵器の廃絶を求める当会は今回の「核態勢見直し」の即時撤回を強く求めるものです。

以 上